

青少年の意識に関する調査結果 (概要版)

1 調査の目的

本県における青少年の意識や行動を把握し、青少年に関する総合的な施策の推進のための基礎資料を得るとともに、広く県民に紹介することにより、青少年の健全育成に対する理解と協力を得る。

2 調査の方法

質問紙による無記名集団調査

3 調査の対象

県内の小学校6年生425人(18校)

〃 中学校2年生432人(15校)

〃 高等学校2年生401人(12校)

計1,258人(45校)

4 調査の実施期間

平成20年10月から平成20年11月

5 調査項目

1. 地域のこと
2. 学校のこと
3. 家族・家庭のこと
4. 自分のこと
5. メディア・コミュニケーションのこと
6. 生活規範に対する意識
7. 社会変化に対する意識

6 調査実施主体

青森県環境生活部青少年・男女共同参画課

7 調査の監修及び「調査結果からみた最近の青少年の姿」原稿執筆

弘前大学教育学部教授 佐藤 三三 氏

8 主な調査結果

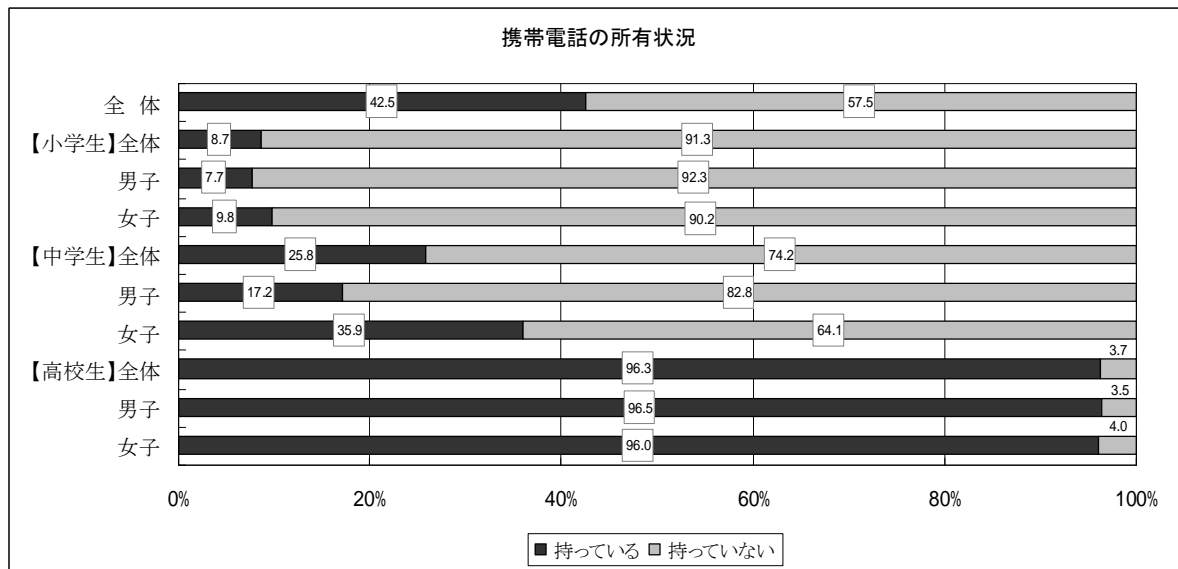
次頁以降のとおり

<携帯電話の所有状況> (報告書 P53)

小学生では12人に1人、中学生では4人に1人であるが、高校生ではほとんどが自分専用の携帯電話を持っている。

全体では、「持っていない」が57.5%となっており、「持っている」(42.5%)を15ポイント上回る。

■小学生、高校生では、男女間の大差は見られないが、中学生では、女子が男子の倍以上高い。

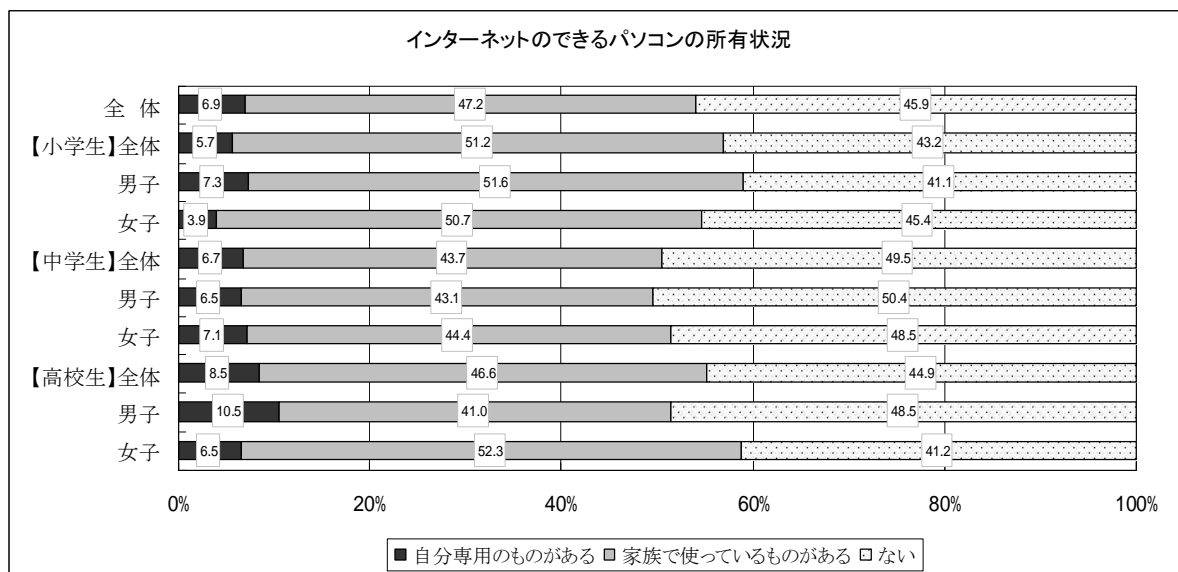


<インターネットのできるパソコンの所有状況> (報告書 P55)

小学生、中学生、高校生のいずれも、2人に1人は「インターネットのできるパソコン」が家にあり、自由に使える状況にある。

自分専用の所有率を見ると、学校種別で大差は見られない。

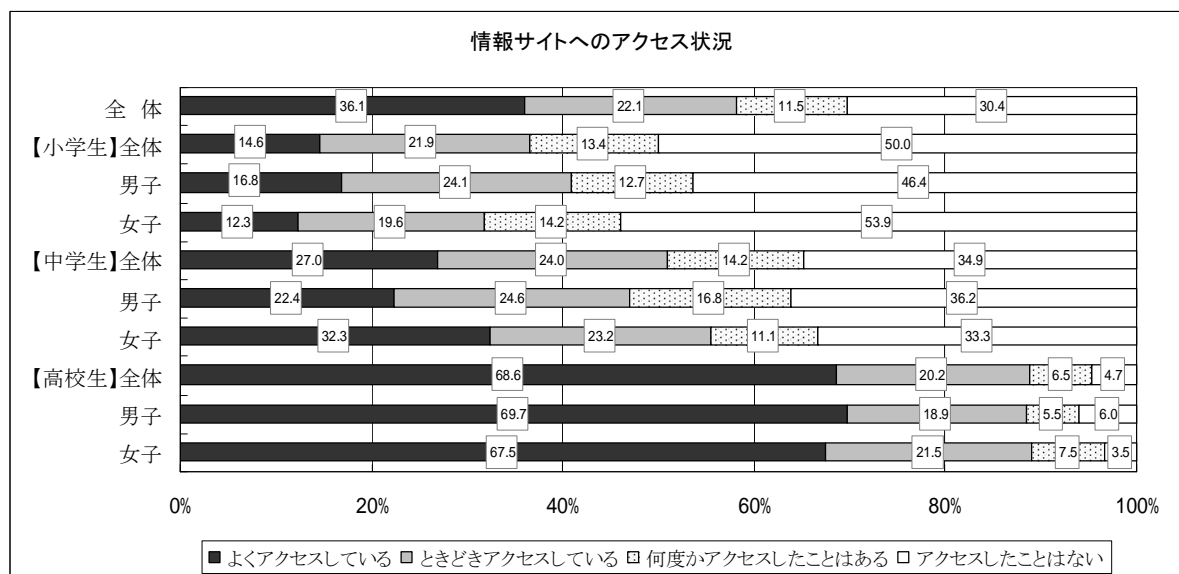
「自分専用」と「家族で使っている」を合わせた『自由に使える』の所有率が最も高いのは、学校種別では小学生(56.9%)、属性別では小学男子(58.9%)となっている。



< 情報サイトへのアクセス状況 > (報告書 P56)

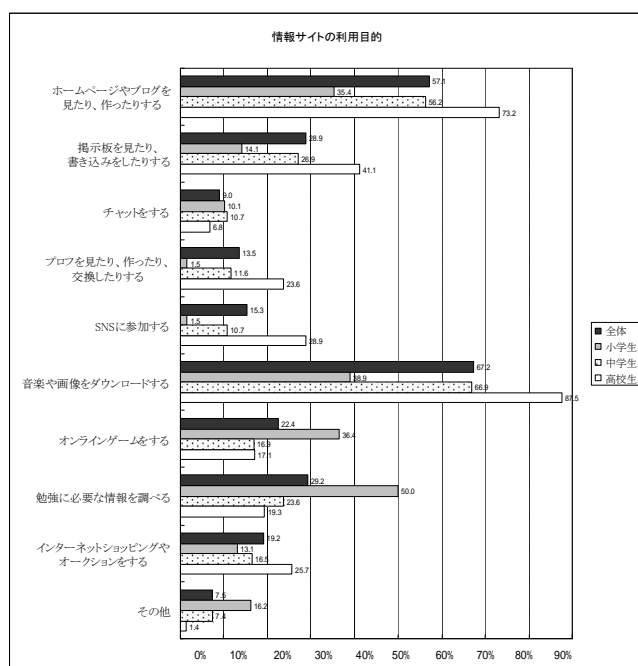
小学生でも、2人に1人は学校の授業等以外で、情報サイトにアクセスしたことがある。

「よく」、「ときどき」、「何度か」を合わせた『アクセスしたことがある』のは、中学生では65.2%、高校生では95.3%となっている。



< 情報サイトの利用目的 > (報告書 P57)

中学生、高校生では「音楽や画像のダウンロード」「ブログや掲示板の閲覧・書き込み」、小学生では、「勉強に必要な情報を調べる」ほか「音楽や画像のダウンロード」「オンラインゲーム」が主な利用目的。



【主な利用目的】

小学生		
	目的	%
1	勉強に必要な情報を調べる	50.0
2	音楽や画像をダウンロードする	38.9
3	オンラインゲームをする	36.4

中学生		
	目的	%
1	音楽や画像をダウンロードする	66.9
2	ホームページやブログを見たり、作ったりする	56.2
3	掲示板を見たり、書き込みをしたりする	26.9

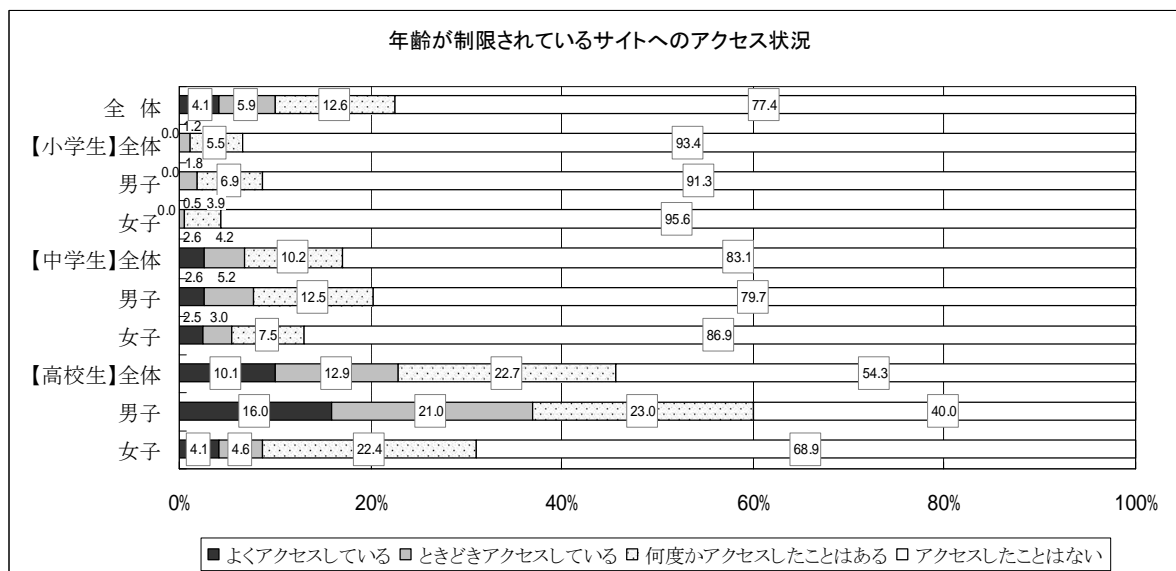
高校生		
	目的	%
1	音楽や画像をダウンロードする	87.5
2	ホームページやブログを見たり、作ったりする	73.2
3	掲示板を見たり、書き込みをしたりする	41.1

< 年齢が制限されているサイトへのアクセス状況 > (報告書 P59)

高校生の23% (高校男子では37%) がほぼ日常的に「年齢制限サイト」にアクセスしている。(「よく」と「ときどき」を合わせた割合。)

「よく」、「ときどき」、「何度か」を合わせた『アクセスしたことがある』のは、高校生では45.7%、中学生では17.0%、小学生では6.7%となっている。

属性別に『アクセスしたことがある』を見ると、高校生では男子が女子の2倍となっている。

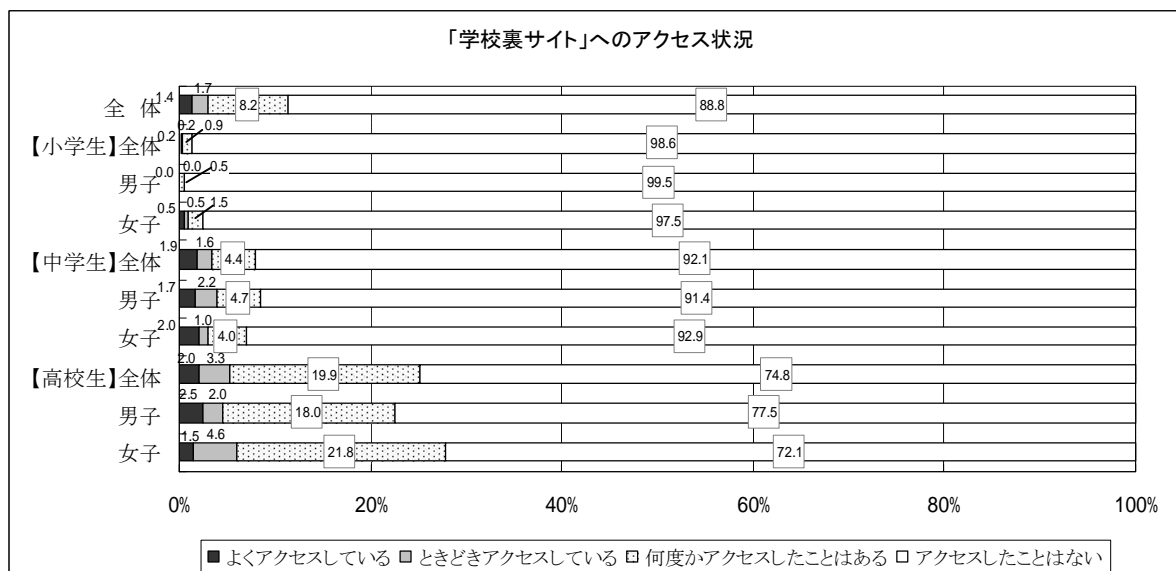


< 「学校裏サイト」へのアクセス状況 > (報告書 P61)

「学校裏サイト」に日常的にアクセスしているのはごく少数であるが、高校生では4人に1人が「アクセスしたことがある」。

「よく」、「ときどき」、「何度か」を合わせた『アクセスしたことがある』のは、高校生では25.2%、中学生では7.9%、小学生では1.3%となっている。

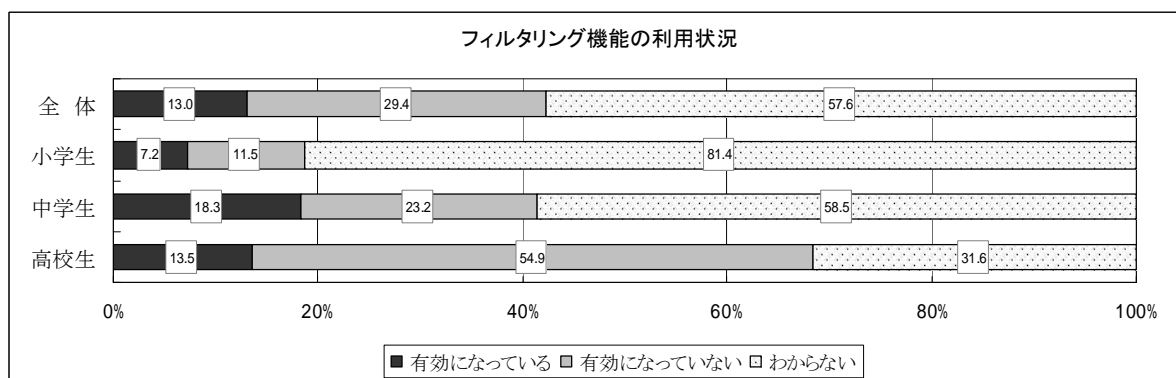
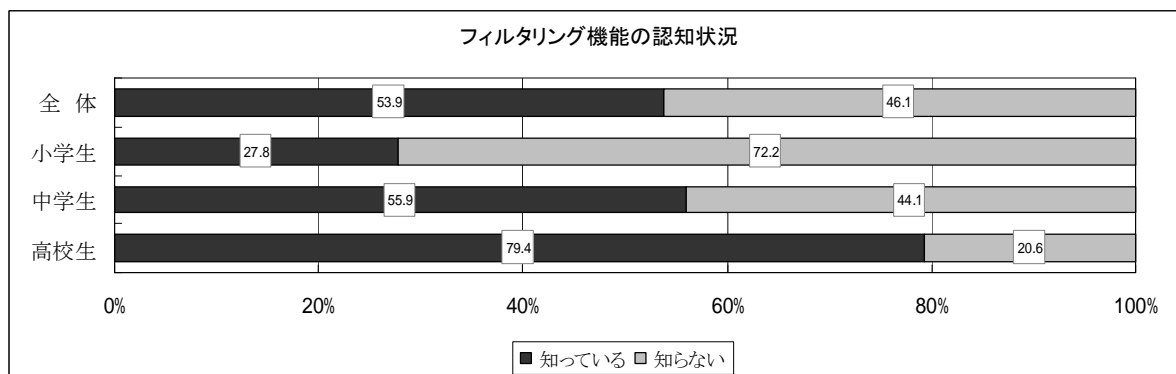
■属性別に『アクセスしたことがある』を見ると、高校女子が27.9%で最も高い。



< フィルタリング機能の認知及び利用状況 > (報告書 P62~63)

携帯電話やパソコンの「フィルタリング機能」について、全体の半数は知っているが、フィルタリング機能が有効になっていると回答しているのは、全体で13%である。

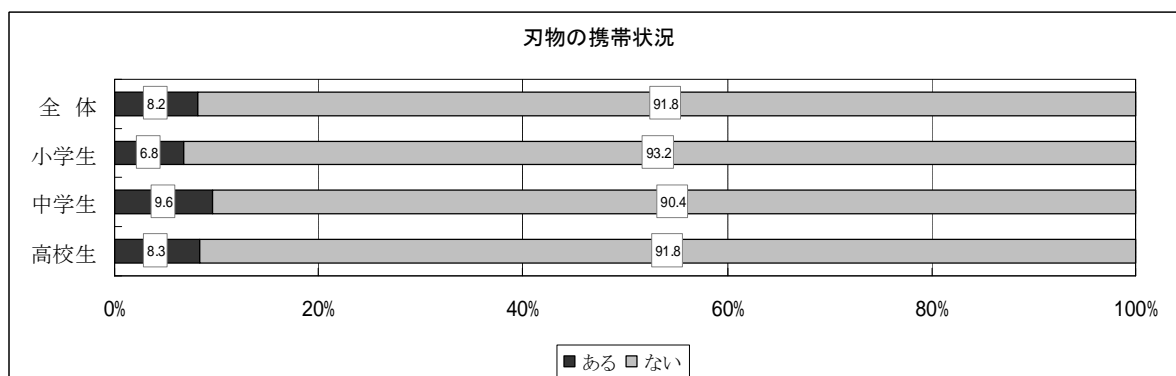
認知状況を見ると、小学生で27.8%、中学生で55.9%、高校生で79.4%が知っている。利用状況を見ると、有効になっていると回答しているのは、小学生で7.2%、中学生で18.3%、高校生で13.5%となっている。



< 刃物の携帯状況 > (報告書 P68)

全体の約8%が、学校で使う以外の目的で刃物を持ち歩いたことがある。

■「ある」を見てみると、中学生が9.6%で最も高く、小学生6.8%、高校生8.3%となっている。



< 刃物の使用頻度 > (報告書 P69)

料理では比較的刃物の使用頻度が高いが、その他の体験活動では「使わない」割合のほうが高く、年齢とともにその割合はさらに高くなっている。

